

**【特徴】**

当センター血液内科には、鉄欠乏性貧血から白血病まで多彩な血液疾患の患者が来院する。治療も栄養指導や鉄剤の投与から、高度の技術が必要な造血幹細胞移植まで、幅広く行っている。他病院では経験できないであろう多くの血液疾患の、診断と治療を経験することによって、オールマイティな血液専門医になれると考える。

**【研修目標】**

## 1. 一般目標

患者の症状、診察所見、検査所見から血液疾患を正確に診断し、患者の年齢や病状から最適な治療を決定し、その治療を安全正確に実施し、発生した副作用や合併症に迅速的確に対応できるように、研鑽する。

## 2. 行動目標

- (1) 現病歴、既往歴、家族歴を詳細に聴取し、記述できる。
- (2) 貧血、黄疸、出血傾向、リンパ節腫大、肝脾腫の所見をとれる。
- (3) 検血、赤血球恒数、白血球分類の異常を判読できる。
- (4) 骨髓穿刺、骨髓生検を実施し、所見を判読できる。
- (5) 造血に必要な物質の検査、溶血に関する検査、血漿蛋白検査、出血凝固系検査の結果を判読できる。また、造血器腫瘍の診断に必要な細胞化学的検査、表面形質検査、染色体検査、遺伝子検査の結果を判読できる。
- (6) 鉄欠乏性貧血を診断し、治療できる。
- (7) 二次性貧血（腎不全、感染症、膠原病など）を診断できる。
- (8) 巨赤芽球性貧血を診断し、治療できる。
- (9) 溶血性貧血を診断し、原因を特定し、治療できる。
- (10) 発作性夜間血色素尿症を診断し、治療できる。
- (11) 再生不良性貧血、赤芽球癆を診断し、治療できる。
- (12) 特発性血小板減少性紫斑病を診断し、治療できる。
- (13) 血栓性血小板減少性紫斑病、溶血性尿毒症症候群を診断し、治療できる。
- (14) 播種性血管内凝固症候群（DIC）を診断し、治療できる。
- (15) 血友病を診断し、治療できる。
- (16) 急性白血病、骨髓異形成症候群を診断し、分類し、治療できる。
- (17) 慢性骨髓性白血病を診断し、治療できる。
- (18) 慢性リンパ性白血病を診断し、治療できる。
- (19) 成人T細胞白血病リンパ腫を診断し、治療できる。
- (20) 悪性リンパ腫を診断し、その病型に最も適した治療を決定し、実施できる。
- (21) 多発性骨髓腫、MGUS、原発性マクログロブリン血症を診断し、治療できる。
- (22) 多血症を診断し、治療できる。
- (23) 骨髓線維症を診断し、治療できる。
- (24) 特発性血小板血症を診断し、治療できる。
- (25) 血球貪食症候群を診断し、原因を検索し、治療できる。
- (26) 伝染性単核球症を診断し、治療できる。
- (27) 慢性EBウイルス感染症を診断し、治療できる。
- (28) 抗癌化学療法を予定し、実施し、副作用に対応できる。
- (29) 自家・同種造血幹細胞移植を実施し、合併症を治療できる。

- (30) 輸血の適応を判断し、依頼し、実施し、副作用に対応できる。
- (31) 免疫不全患者に合併する感染症を診断し、抗菌薬療法を行える。
- (32) 無菌室管理など感染予防対策を実施できる。
- (33) 抗癌剤治療を断念し、緩和医療に移すタイミングを判断できる。
- (34) 卒後3年目を目標に内科認定医、卒後6年目を目標に血液専門医を取得する。

#### 【方略】

- (1) 入院患者の主治医となり、上級医の指導のもと、診断、治療にあたる。
- (2) 週1回カンファレンスで、受け持ち患者をプレゼンテーションし、検査予定、診断、治療方針を検討する。また、他医師の受け持ち患者の診断、治療について自らの考えを述べる。
- (3) 検査、治療の手技を上級医のもとで実習する。
- (4) 末梢血、骨髄の血液像の判読を、上級医、検査技師のもとで研修する。
- (5) 年間1回以上の学会発表と論文執筆を行う。

#### 【評価】

上記の行動目標について自己評価を行い、かつ指導医から評価を受ける。

#### 【研修プログラム】

- (1) 1年目（卒後3年目）に内科系専門科をローテートする。
- (2) 入院患者の主治医となり、実際の症例を通して研修する。
- (3) 2ないし3年目（卒後4ないし5年目）から外来診療を行う。
- (4) 2年目（卒後4年目）に認定内科医資格認定試験を受験し、5年目（卒後7年目）に血液専門医資格認定試験を受験することが望ましい。（希望に応じて他科研修を行う）

#### 【見学等問い合わせ先】

血液内科部長 山根 孝久